

平成 27 年 度  
(2015 年度)

事業計画書

公益財団法人 吹田市国際交流協会

## 【2015(平成 27)年度 事業方針】

### 1. 組織運営及び事業展開について

当協会は、これまでの経験により培ったノウハウを活かしながら、吹田市の重要な施策である「国際化」や「多文化共生」につながる事業をその時代のニーズに合致した形で実施してきました。

しかし、吹田市からの補助金は削減傾向にあり、2011 年度と比較すると約 45%（約 1120 万円）削減されています。また「日本語教室」受託事業も約 30%（約 60 万円）が削減されています。

吹田市からの受託事業では人件費が経費として認められていません。従来から、公益目的事業の実施は補助金に大きく依存している状況にありました。当協会では、補助金の削減に対応するため、人員数の削減だけでなく、職員の給与水準を下げることで総人件費の削減を進めてきました。

これからも地域に必要とされる事業を展開していくためには、昨年度も取り組みましたように、人件費が経費として認められる様々な国や府の委託事業や助成金事業などを活用できるように努力します。

厳しい状況の下、事業水準の維持に努めてまいりましたが、このままでは事業の見直しや廃止、なお一層の職員数の削減を視野に入れなければなりません。

当協会は、公益目的事業としての語学教室（自主事業）の運営において一定の収入を

確保するなど全国的に見ても公益財団法人として理想的な運営実績がありますが、今後、その他の自主事業の運営についても自主自立の方向で努力していかねばなりません。

また、吹田市が総合計画に基づく国際化事業を進めるにあたり、協会として積極的に協力してまいります。その際には、吹田市からの適正な財政的支援は必要と考えます。

改革改善を進めてきた先進的な事業を継続していくため、新たなプログラムの開発も検討し収入の増加を図るとともに、収益事業の展開についても検討を進めます。

ボランティア活動の中でも日本語チューターやホストファミリーなど、ボランティアの企画力・実現力に委ねた方が大きな効果を期待できるものは、ボランティアの自主的な運営を目指し、支援の在り方を検討します。

歴史的に大きな成果を残してきたバンクスタウン市との交流事業については、青少年の教育交流に特化して再開を目指し、資金面や運営面の検討を進めます。

さらに、公益財団法人の使命として、定款に定めた協会の公益目的事業の中核である多文化共生のまちづくりやグローバル人材の育成、在住外国人支援など必要な事業を一定の分野に偏ることなくバランスよく実施するように努力していきます。

## 2. 公益目的事業の概要について

### (1) 事業の趣旨

吹田市と連携を図りながら、在住外国人の支援や市民の国際交流促進・支援・研修において市民主体の国際交流活動を推進するとともに、ボランティアとのネットワーク構築や人的資源としての専門的ノウハウを蓄積してきました。これらの専門的ノウハウ等を活かして、協会の目的である「人権尊重を基調とした地域社会づくり」に寄与するため、吹田市の国際化促進と市民の国際交流活動を支援し、今後国際社会で活躍できるグローバル人材の育成や、地域で暮らす多様な背景を持つ外国人を支援するものです。

### (2) 事業の構成

「市民主体の国際交流・国際協力」「国際化推進の人づくり支援」「在住外国人の支援」の3分野で構成し、個々の特性を生かしながら一体的な事業運営を実施します。

## 3. 多文化共生のまちづくり

日本は少子高齢化時代を迎えます。その対策として在住外国人を地域の担い手として受け入れることを始めている地域もあります。吹田でも在住外国人を共に暮らしていくパートナーとして地域で受け入れるための支援や、関係機関との協働を進める多文化共生のまちづくりを進めることが大切です。外国人にとって「暮らしやすいまち」を創造することは、吹田が外国人だけでなく日本人にとっても魅力あるまちとなることにつながります。

その実現に向け、日本語教室や通訳ボランティアによる医療機関等への同行や居場所づくり、子どもの学習支援など様々な協会事業において、在住外国人への支援を行います。「暮らしやすいまち」として吹田で働き、子育てしたいまちとなるようにすることで、将来、在住外国人が地域の支援者、担い手として活躍できるよう働きかけます。

さらに、今後必要とされる在住外国人を含む地域防災の推進、小学生の異文化理解につながる体験型英語学習等には、協会の国際交流員を活用しグローバル人材の育成を進めます。

また在住外国人が地域の活力となるための協力者を増やす人材育成の場を作ります。

このように日本人、外国人双方を対象とする事業を展開することで、まちづくりの視点から多文化共生・交流に取り組みます。

#### **4. ボランティアや国際交流関係団体との協働**

個人、グループのボランティアの自主的な活動にむけての支援をさらに進めます。ボランティアと協会職員との意見交換を通して協働事業の担い手を増やします。

その中で、協会のある千里ニュータウンプラザを活かした新たな多文化共生、国際交流を発信するための協働事業をボランティアと共に検討を進めていきます。

また地域の国際交流関係団体との情報共有や、団体相互の情報共有の場を作り、広く参加を呼びかけ協働を進めます。

## 5. 他団体・組織・機関との連携

「大阪府国際化戦略アクションプログラム」の推進において、大阪府の諮問機関に参画し、さらに（公財）大阪府国際交流財団(OFIX)との協働事業の取り組みを進めます。

関西大学南千里国際プラザ及び南千里国際学生寮の運営委員会に参画し、留学生の支援事業の企画提案に協力します。

## 6. 東日本大震災への対応

今年度も引き続き協会事業を通して、東日本大震災被災地への支援を様々な機関と連携をとりながら継続します。

### 【事業の内容】

#### Ⅰ 市民主体の国際交流・国際協力

市民が主体となって国際交流や国際理解を進め、多様な価値観を認め合う地域社会の実現を推進します。

##### 1. 友好交流都市との交流事業

吹田市が行うバンクスタウン市やモラトワ市との交流等を通して、市民の異文化交流を進めます。

## **2. 国際交流情報の収集及び発信**

協会の活動紹介や在住外国人に役立つ多言語情報、国際交流情報などを掲載した会報を年6回発行し、地域の国際化につながる情報を発信します。事業の周知や報告はホームページや、フェイスブックを活用し情報発信を充実させます。

また、大阪府内の国際交流協会による「国際交流協会ネットワークおおさか」に参画し、様々な課題に対し広域的な相互協力や情報交換を行います。

## **3. 市内大学との連携による留学生等と市民の交流**

大阪大学、関西大学等と連携し協会のホストファミリーボランティアが留学生を家庭に招き、日本の文化や生活を体験する機会を提供し、交流を通して相互理解を深めます。ボランティアの世話人を中心に運営します。

## **II 国際化推進の人づくり支援**

多文化共生の理解者を増やししながら、未来を担う子ども達にも様々な体験学習の場を提供し、グローバルに活躍できる人材づくりを推進します。

### **1. 国際交流ボランティア活動支援**

#### **(1) 国際交流ボランティア登録**

研修やボランティア活動などを通してボランティアが自主的に活動できるよう支援します。

## (2) ボランティアによる日本語学習支援

### ア. SIFA 日本語チューター

ボランティアによる日本語学習支援の機会拡充の場として開催します。今後は多文化共生の人づくり支援の観点からボランティアによる自主運営を目指します。

### イ. にこにこ日本語

昨年度文化庁に採択された助成事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の実績を踏まえ、ボランティアによる学習者のレベルに配慮した少人数グループ学習クラスを開設します。日本語指導を通してボランティア自身が日本文化について理解を深め、学習者と共に学び合い育ち合う機会を提供します。

## 2. 語学教室（自主事業）

吹田市の友好交流都市バンクスタウン市より語学教室講師兼国際交流員を招聘し、中核となる講師として位置付け、授業の内容も語学力を伸ばす目的だけではなく、外国語に興味を持って様々な国の文化や習慣などについても学び、本当の国際理解を実感できるようなレッスンを展開します。外国語に慣れ親しむことで、国際理解への意識を高め、多文化共生のまちづくりを担う人材を育成します。

また、子どもを対象に保護者と一緒に学ぶ幼児から高校生までの英会話クラスを開催し、英語学習を通して子ども達の国際理解を深め、グローバル人材の育成に努めます。

さらに、保育付きのクラスを設定し、子育て中の方にも学習の機会を提供できるよう



にするとともに、日本人と日本語教室に通う外国人の親子のつながりの場とします。

開講予定：英語、中国語、韓国朝鮮語、多言語クラス

### **3. 異文化理解・啓発事業**

#### (1) 国際交流プラザ

世界の文化を体験できるプログラムを「吹田市国際交流団体ネットワーク」や外国人ボランティアと協働で実施し、広く市民の国際理解を促進するとともに、協会の活動の周知も行います。

#### (2) 多文化共生講座

多文化共生について理解し、地域の国際化を進める人材育成のために開催します。

#### (3) 異文化理解出前講座「地球村ぷらす」

国際交流員や在住外国人等が講師となり、異文化理解の講座を実施します。地域からの要望があれば、共催事業として実施します。

#### (4) 外国語で絵本の読み聞かせ（千里図書館協力）

外国語の絵本を通じて、子どもに様々な国の言葉や文化に触れる場を提供します。

### **4. 子ども国際理解に関する事業**

体験学習を通じて、子どもたちが世界の多様な文化や環境など様々なテーマについて共に学び、国際理解を深めるプログラムを高校生や大学生等を中心に構成される「ユ-

スボランティア」を中心に企画・実施します。他にも留学生等の在住外国人の協力により、子どもの国際理解につながる事業を実施します。

## 5. 国際交流団体等支援・連携事業

### (1) 市民グループ等との協働及び連携

「吹田市国際交流団体ネットワーク」により、国際交流に関わる様々な団体や機関等がつながり、地域における国際交流、異文化理解、多文化共生、国際協力などの情報交換をすることで、それぞれが連携、協力できるような場を作ります。

また国際交流や国際理解など地域の国際化に寄与すると認められる事業のうち、市民グループなどが行う事業に対し、共催・後援・協力などを行います。

### (2) 国際交流組織等との協働及び連携

多文化共生や国際理解、グローバル人材の育成などの国際化事業を進めるために関係する行政組織や国際交流機関、大学等と広く連携することを目指します。

## Ⅲ 在住外国人の支援

地域に暮らす外国人が地域社会において、支援されるだけでなく支援する側となって地域コミュニティを将来担う人材となるため、必要な支援や協働を推進します。

### 1. 日本語教室（吹田市受託事業）

初めて学ぶ人から簡単な会話ができるレベルまで、講師による生活に必要な読み書きや会話を習得するために週2回2クラス開催します。交流イベントや生活情報などを提供し、日本の生活に早く慣れるよう支援します。

保育付きクラスを一部設け、就学前の子どもがいても学習できる機会を提供します。

年 1 回公開の日本語発表会を開催し、日頃の学習の成果を発表するとともに市民との交流を図ります。

## **2. コミュニティ通訳ボランティア同行事業**

日本語による会話が十分でない在住外国人が、言葉の壁により医療機関等を利用する機会が失われないよう、市内提携病院等を利用する際に協会の養成講座を修了した「コミュニティ通訳ボランティア」と「外国人ママサポート通訳ボランティア」が同行し通訳を行います。

※提携病院等：吹田市民病院・済生会吹田病院・済生会千里病院・吹田市立保健センター

## **3. コミュニティ通訳ボランティアスキルアップ研修（吹田市受託事業）**

コミュニティ通訳ボランティアの技術向上を目指し、研修会を行うことで通訳ボランティアが安心して活動できるように支援します。

## **4. 地域事業への在住外国人の参加促進**

在住外国人が地域の行事などに参加できるよう支援します。

## **5. その他の在住外国人支援事業**

(1) 外国人児童生徒の支援

ア. ハロハロ SQUARE（外国にルーツをもつ子どもの学習支援事業）

いろいろなルーツをもつ子ども達が共に楽しく学べる場を提供し日本語の力を伸ばすと同時に、進学に向けて学力をつけ、自己実現につなげていけるよう実施します。

大阪大学グローバルコラボレーションセンターとの連携事業として、また関西大学ユネスコ研究部の協力を得て学習支援を行います。

イ. 吹田市教育委員会が主催する「日本語適応教室」への協力

ウ. 大阪府教育委員会帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業への協力

「多言語・進路・学校生活サポートガイダンス」を通じ、高校受験などの進路選択のための情報提供と相談などに協力します。

## (2) 子育て中の外国人支援

外国人ママの仲間づくり事業として子育て中や妊娠中の外国人ママ・パパに寄り添い、日本で安心して子育てができるように、保健センターや子育て支援団体、ボランティアなどと協力して、交流や情報交換ができる交流会等を開催します。

## (3) イコールアクセスのための情報の提供

ア. 成人歯科検診の実施

吹田市歯科医師会と吹田市保健センターと連携、協力し、千里ニュータウンプラザ内の口腔ケアセンターで、市内在住の外国人を対象にした成人歯科集団検診実施の検討を進めていきます。

イ. 行政情報などの提供

在住外国人も日本人と同じように行政などの情報が届くように、法律や制度の変更など必要な情報を提供します。

#### (4) 地球村プロジェクト

ボランティアの協力により、在住外国人が主体的にイベント等を企画運営し、その中で日本語や日本社会の習慣を学び、仲間との関係を築いていきます。支援してもらっただけでなく、いずれは日本で外国人自身の経験や能力を生かして自己実現につなげられるよう、まずは楽しく元気になれる場を作ります。「外国人の外国人による外国人と地域をつなげるプロジェクト」を目指します。

#### (5) 使える日本語（自主事業）

日本語学習中級者を対象に生活や就労につなげるための「生活日本語」を学べる日本語クラス（有料）を開設します。